

授業科目 形成外科学

【担当教員名】 宮田昌幸 坂村律生	対象学年	1	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>】

形成外科の四大対象である先天異常、外傷、腫瘍、美容について疾患の概念・治療法の要点を学ぶことを目的とする。

【<学習目標>】

1. 形成外科の概念を理解し、取り扱う代表的疾患名、治療法の概略を学ぶ。
2. 創傷治癒の過程や移植手術など形成外科の基礎を学ぶ。
3. 骨折を含め顔面外傷について神経麻痺や瘢痕拘縮などの問題点について基礎知識を得る。
4. 頭蓋・顎顔面の先天異常を来す疾患の概略を知る。
5. 口唇裂、口蓋裂、小耳症など言語、聴覚障害を来す先天疾患について理解し、治療の要点を知る。
6. 頭頸部腫瘍の種類・治療法、特に再建法を学ぶ。
7. 美容外科の基本的な治療法を知る。

回数	授業計画又は学習の主題	S80	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	形成外科の考え方 : 形成外科の概念・歴史・治療対象		講義・宮田
2	形成外科的治療の基礎 : 創傷治癒・移植手術		講義・宮田
3	外傷 : 顔面外傷・顔面骨骨折・顔面神経麻痺・瘢痕拘縮		講義・坂村
4	先天異常概論 : 頭蓋・顎顔面の異常		講義・宮田
5	唇裂・口蓋裂 : 発生・分類・解剖・治療法		講義・宮田
6	頭頸部外科 : 腫瘍による障害と再建法		講義・坂村
7	美容外科 : 美容外科の基礎知識		講義・坂村

【使用図書】

<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	指定しない		
参考書	標準形成外科学	鬼塚卓弥	医学書院 2000年・6800円
その他の資料	授業でプリントを配布		

【評価方法】

出席状況、試験を勘案し評価する。

【履修上の留意点】

スライドを多用する。